

届出する年月日を記入してください

離婚によって、住所や世帯主が変わる方は、あらたに住所変更届、世帯主変更届の手続きが必要となりますので、ご注意ください。

父母が現在、婚姻しているときは、母に氏を書かないでください。また、離婚その他の事情で父母の氏が変わるときは、変更後(現在)の氏を書いてください。養父母についても同じように書いてください。

訂正印

令和 年 月 日 午前 時 分 午後

夫 免 旅 住 その他 無 ()

通知 要 不要

妻 免 旅 住 その他 無 ()

通知 要 不要

使 免 旅 住 その他 無 ()

送付 和 年 月 日

確認 通知

離婚届

令和2年12月 3日届出

長 殿

	受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日 第 号
	送付 令和 年 月 日 第 号	長 印
	書類調査	戸籍記載
	記載調査	調査票
	附票	住民票
	通知	

(1) 氏名 夫 **かみかわ いちろう** 妻 **かみかわ はなこ**
 氏名 **上川 一郎** **上川 花子**
 生年月日 **昭和 40 年 1 月 1 日** **昭和 40 年 3 月 3 日**
 住所 **北海道 上川郡 上川町 南町** **北海道 上川郡 上川町 本町**
 (住民登録をしているところ) **180 番地 番号** **2 番地 番号 1**
 (よみかた) **かみかわ いちろう** **かみかわ はなこ**
 世帯主の氏名 **上川 一郎** **上川 花子**

(2) 本籍 **北海道 旭川市 宮前通東 4 1 5 5** 番地 **3 1**
 (外国人のときは国籍だけを書いてください) 筆頭者の氏名 **上川 一郎**
 父母の氏名 父母との続柄 夫の父 **上川 太郎** 続柄 **長 男** 妻の父 **愛別 次郎** 続柄 **二 女**
 (他の養父母はその他の欄に書いてください) 母 **梅子** 母 **当麻 春子**

(3) 離婚の種別 協議離婚 和解 年 月 日 成立 請求の認諾 年 月 日 認諾
 調停 年 月 日 成立 審判 年 月 日 確定 判決 年 月 日 確定

(4) 婚姻前の氏にもとる者の本籍 夫 妻 もとの戸籍にもとる 新しい戸籍をつくる
北海道 上川郡 愛別町 宇本町 1 7 9 番地 (よみかた) **あいべつ じろう**
 筆頭者の氏名 **愛別 次郎**

(5) 未成年の子の氏名 夫が親権を行う子 **上川 さくら** 妻が親権を行う子

(6) 同居の期間 (同居を始めたとき) 年 月 から 年 月 まで (別居したとき)

(7) 別居する前の住所 **北海道 上川郡 上川町 南町 180** 番地 番号

(8) 別居する前の世帯のおもな仕事と 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1 から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯
 (国勢調査の年…平成 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)

(9) 夫妻の職業 夫の職業 妻の職業

その他 **添付書類 調停書謄本**

届出人 夫 **上川 一郎** 妻

署名押印 夫 妻

事件簿番号 年 月 日 年 月 日 年 月 日

連絡先 電話 **090(5555)〇〇××** 自宅・勤務先 []・携帯

「夫」又は「妻」いずれかの申立人のみ署名します。

必ず連絡先の電話番号をご記入ください。

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。届書は、1通でさしつかえありません。この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要です。そのほかに必要なもの 調停離婚のとき⇒調停調書の謄本 審判離婚のとき⇒審判書の謄本と確定証明書 和解離婚のとき⇒和解調書の謄本 認諾離婚のとき⇒認諾調書の謄本 判決離婚のとき⇒判決書の謄本と確定証明書

証人欄の記載は不要です。

証 人 (協議離婚のときだけ必要です)			
署 押	名 印	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所	番 地	番 地	番 地
	番 号	番 号	番 号
本 籍	番 地	番 地	番 地
	番 号	番 号	番 号

父母がいま婚姻しているときは、母の氏を書かないで、名だけを書いてください。養父母についても同じように書いてください。□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

婚姻で氏がかわった人は離婚後の氏や戸籍を次の3つから選んでください。
 元の氏に戻る場合 ①親の戸籍に戻る(左の例になります)
 元の氏に戻る場合 ②自分で新戸籍をつくる
 引き続き今までの氏を使う場合 ③別の用紙を離婚届と同時に提出してください。(戸籍法77条2項の届出になります。) 離婚届と同時に77条2項の届出を提出する場合は、この欄は記入しないでください。

同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてください。

離婚届を提出し、いったん元の氏に戻った方も「婚姻中の氏」を引き続き使用したいときは、離婚の日から3ヶ月以内であれば、裁判所の許可なく「戸籍法77条2項の届出」をすることによって、そのまま使用できます。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

未成年の子がいる場合は、次の□のあてはまるものにしるしをつけてください。
 (面会交流)
 取決めをしている。
 まだ決めていない。
 (養育費の分担)
 取決めをしている。
 まだ決めていない。
 未成年の子がいる場合に父母が離婚をするときは、面会交流や養育費の分担など子の監護に必要な事項についても父母の協議で定めることとされています。この場合には、子の利益を最も優先して考えなければならないこととされています。

◎署名は必ず本人が自署してください。

持参していただくもの
 ① 離婚届書(1通)
 ② 運転免許証・パスポート等
 *本人確認のため
 ③ 裁判所からの書類
 *届出人は申立人です。確定の日から10日以内に届出が必要です。証人は必要ありません。